

新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した

## 大会運営ガイドライン

### 1 大会運営に当たって

- (1) 選手、保護者の意向を尊重して、大会の参加を強制しないこと。
- (2) 日頃の学校や私生活において、常に最大限の感染予防に努めること。
- (3) 大会当日の朝、選手の健康状態を確認できる体制にすること。
- (4) 大会に向けた日頃の練習や練習試合においても当ガイドラインに沿った感染予防対策を徹底すること。
- (5) 選手には免疫力を高めるため、十分な睡眠、バランスの取れた食事を心掛けさせること。
- (6) 新型コロナウイルス感染症に関する確認事項及び、大会運営ガイドラインを遵守し、健康上問題がないことを確認するために、同意書を作成する。

### 2 三密を避ける取り組み

- (1) 大会会場（体育館）に入場できる各チームの人数は下記の通りとする。
  - ・大会会場（体育館）に入場できる関係者は1チーム20名以内とする。
  - 選手・チーム関係者・保護者（選手の世話係を含む） ※今大会の観戦者はなしとする。
- (2) 試合間で選手及びチーム関係者を入れ替える為、試合間を60分空ける。
  - ・試合が終了した選手及びチーム関係者が体育館から全員出て、消毒が終了してから次の試合の選手及びチーム関係者を体育館に入れる。
- (3) 選手同士の接触を控える。
- (4) 会場内での、選手以外のマスク着用を義務付ける。
- (5) 開会式はおこなわないが、最終日には表彰のみ行う（チームおよび個人）。

### 3 検温及び健康観察について

- (1) 大会の日の朝、必ず検温及び健康観察を行う。

（当日の体温が平熱より1℃以上高い選手は大会参加不可）

  - ・熱はないか
  - ・咳や鼻水などの風邪症状はないか
  - ・強いだるさや頭痛はないか
  - ・息苦しさはないか

※熱や風邪症状がある選手やチーム関係者の大会参加は認めない。
- (2) 検温後は体温を体温・体調管理表に記入する。
- (3) 体温・体調管理表はチーム代表者が取りまとめ、会場入りの際に提出する。
- (4) 会場入りの前に、各チームで体温チェックを行う。（各チーム対応）
- (5) 大会会場入りの後に発熱の症状等の体調不良になった選手は帰宅させる。
- (6) 大会終了後、帰宅後も検温及び健康観察を行い記録しておくこと。

#### 4 手洗いうがい・消毒について

- (1) 体育館へ入館前と体育館退館後は手洗い・うがい・消毒を行う。
- (2) 手洗い用石けん等、消毒液等は各チームで準備する。
- (3) 手洗い後の手をふくタオルは共用しないこと。

#### 5 マスク等について

- (1) 基本的にマスク等を会場入りから帰宅まで全員、着用することとする。
- (2) 試合前の練習時はマスク等を外す。
- (3) 試合中、マスク等は外す。
- (4) 試合に出ない選手及びベンチ入りするチーム関係者はマスク等を着用する。
- (5) 外したマスク等は清潔に保つようにする。
- (6) マスク着用時も水分補給をこまめに行う。

#### 6 試合中の注意事項

- (1) 試合前の声出しはおこなわない。
- (2) 試合前及び試合終了後の握手はおこなわない。
- (3) 試合中、必要以上に顔や髪などをさわらないようにする。
- (4) 試合中、ハイタッチはしない。
- (5) ベンチのメンバーはソーシャルディスタンスを意識して座る。
- (6) タオルの共用はしない。
- (7) 大きな声を出しての指示やアピール等を行わない。(飛沫防止の為)

#### 7 その他

- (1) 常時窓を開けて換気を行う。雨天時はハーフタイム及び試合間におこなう。
- (2) 控え場所やミーティングの際には三密にならないように行う。
- (3) 水筒を必ず持参する。(自分の水筒以外では水分補充をしない)
- (4) 大会期間中に気分が悪くなる選手は保護者へ連絡し帰宅させる。  
(保護者が迎えに来るまでの控え場所は他の児童と距離を置くこと)
- (5) 大会終了後、会場・用具の消毒を行う。
- (6) 接待はなしとする。
- (7) 勝ち残っているチームの学校が臨時休校となる場合、そのチームは不戦敗とする。
- (8) 大会期間中に県及び地区全体に感染が広がる場合は、大会を中止とする。